



KONICA MINOLTA

# コニカミノルタグループ 2012年3月期 第1四半期決算説明会

2011年7月28日

コニカミノルタホールディングス株式会社

常務執行役 安藤吉昭

# 本日お伝えしたいメッセージ

## 前年同期比

- 情報機器事業は、サプライチェーン混乱の中、震災BCPの取組みにより、ハード販売台数は、オフィス分野は前年並み、プロダクション分野は前年を上回る。ノンハード売上も前年を上回り、増収を確保。欧米市場を中心に販売モメンタムは堅調。  
営業利益は、成長実現のためのR&DやM&Aの費用が先行し減益。
- オプト事業は、調整影響で事業全体では減収減益も、TACフィルムは新製品効果で伸長。

## 1Q見通しとのギャップ

- 情報機器事業は、震災BCPによって需給のミスマッチが生じ、6月の追い込みができず、先行投資の費用増を売上増で吸収するに至らず。
- それ以外の事業は、概ね見込み通り、或いは見込み以上の着地。

## 2Q以降の見通し

- 情報機器事業は生産正常化による収益回復、それ以外の事業は計画通り進捗を見込む。
- 期初予想の「震災影響50億円を織り込んで通期営業利益420億円」に変更なし。

# 2011年度第1四半期 グループ業績



KONICA MINOLTA

	11年度 1Q	10年度 1Q	[億円] YoY
売上高	1,862	1,947	△ 85
営業利益	33	98	△ 66
(営業利益率)	1.8%	5.1%	-
のれん代償却額	22	22	0
のれん代償却前営業利益	55	120	△ 65
(のれん代償却前営業利益率)	3.0%	6.2%	-
当期純利益	△ 1	35	△ 36
(当期純利益率)	-0.1%	1.8%	-
為替レート [円] US\$	81.74	92.01	△ 10.27
Euro	117.40	116.99	0.41

# 2011年度第1四半期 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

売上高	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY	[億円]
情報機器	1,341	1,328		13
オプト	311	352	△ 40	
ヘルスケア※	155	210	△ 55	
その他事業	40	39	0	
HD他	15	18	△ 2	
<b>グループ計</b>	<b>1,862</b>	<b>1,947</b>	<b>△ 85</b>	

営業利益	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY
情報機器	36	76	△ 40
オプト	34	51	△ 17
ヘルスケア※	△ 5	△ 1	△ 4
その他事業	5	5	△ 0
HD他	△ 37	△ 33	△ 4
<b>グループ計</b>	<b>33</b>	<b>98</b>	<b>△ 66</b>

※09.1Q～10.2Qはグラフィック事業を含む(10.3Q以降は情報機器事業に編入)

# 今回の決算の要約



	前年同期比	見通しとのギャップ
<b>売上高</b>	<b>△85億円</b>	<b>凡そ△40億円</b>
情報機器事業:	+13億円 プロダクション新製品が牽引	△40億円 6月での若干の販売未達
オプト事業:	△40億円 調整によりTAC以外は低調	TACが牽引して上振れ
ヘルスケア事業:	△55億円 (組織再編による売上減△33億円)	ギャップなし
<b>営業利益</b>	<b>△66億円</b>	<b>凡そ△35億円</b>
情報機器事業:	△40億円 R&D費中心に販管費増	△35億円 販売未達、製造損益悪化
オプト事業:	△17億円 数量影響	上振れ
ヘルスケア事業:	△ 4億円 フィルム販売減、銀価格高騰	ギャップなし

# 情報機器事業における見通しと実績のギャップについて



KONICA MINOLTA

## 販売要因

売上高で△40億円、営業利益で△25億円の影響

震災BCPに対応した「生産計画固定」により、月度の進捗に沿って製品供給の柔軟性が低下し、一部製品において需給のミスマッチで販売機会を逸失。

- オフィス分野：一部中低速機の供給不足による販売未達（日米欧）
- プロダクションプリント分野：一部機種にバックオーダー発生（主に米国）

## 生産要因

営業利益で△5億円の影響

震災BCPに対応して生産部材確保を優先し、一時的にコスト低減活動がスローダウン

- 需給逼迫部材の確保や代替部材の調達に伴い製造変動費が増加

## 経費要因

営業利益で△5億円の影響

販売子会社において一部販売経費が増加



2Qは販売・生産とも1QのBCP対応から正常化に向かうことから、販売機会の拡大及びコストダウンによる収益寄与により、2Qでの収益回復を見込む。

## 販売要因

売上高で50億円、売上総利益で30億円の改善

販売モメンタムが堅調な海外市場を中心に、MFPの販売拡大を強化する。

- バックオーダーの解消による売上増
- プロダクションプリントの売上増による販売ミックスの改善

## 生産要因

調達コストダウンを中心に10億円改善

正常時のコスト低減活動を再開、取組みを加速する。

## 経費要因

間接費用を10億円削減し、1Q並みの販管比率を維持

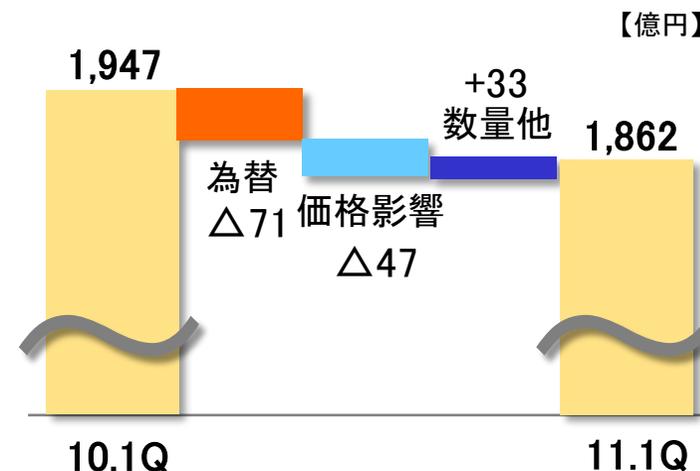
# 売上高・営業利益増減分析(対前年比)



KONICA MINOLTA

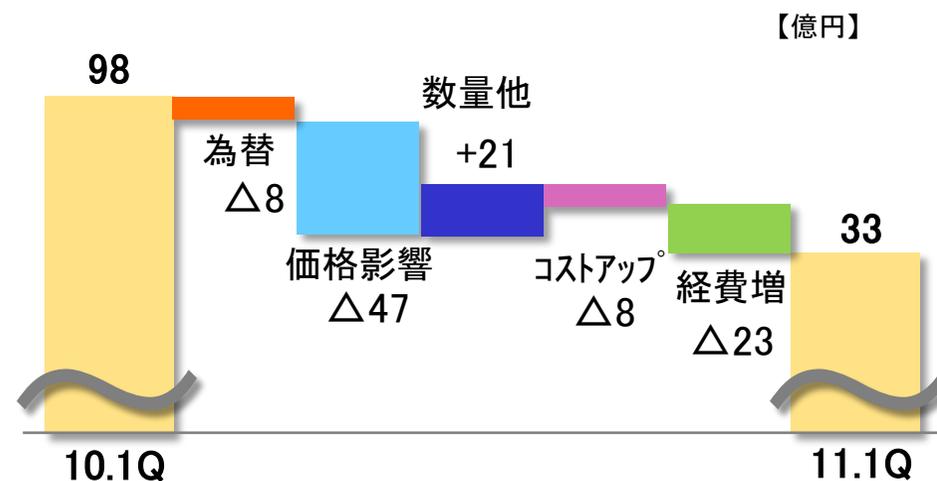
## 売上高

- ▶ **為替影響**：主に情報機器事業で影響。
- ▶ **価格影響**：各事業ともに下落率は通常レベル。
- ▶ **数量他**：情報機器事業での増収効果を、TAC以外のオプト事業およびヘルスケア事業のフィルム減少等により減殺。



## 営業利益

- ▶ **為替影響**：主にオプト事業とヘルスケア事業で影響。
- ▶ **数量他**：主に情報機器事業の売上増による。
- ▶ **コスト**：情報機器事業およびヘルスケア事業でのコストアップが影響。
- ▶ **経費**：情報機器事業での経費増が影響。



# 情報機器事業の概況



KONICA MINOLTA

## 1Q実績(対前年比)

売上高 : +1%(除く為替影響 +5%)  
 営業利益 : △53%(除く為替影響△53%)

- ▶ オフィス: 販売台数は前年並み、ハード売上も堅調に推移するが、経費増により減益。
- ▶ プロダクション: 新製品の販売好調が牽引し、+26%と大幅増収。

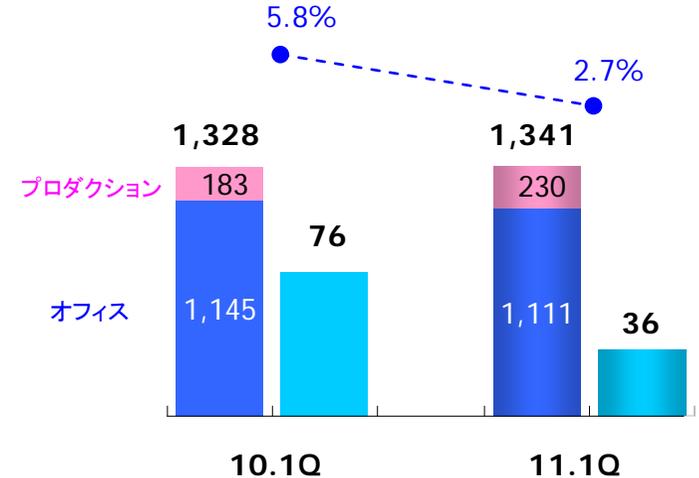
## 2Q見通し(対直前期比)

売上高 : +4%  
 営業利益 : +102%

- ▶ オフィス・プロダクションともに、1Qバックオーダーのキャッチアップによる売上増が製品ミックスを改善。生産定常化に伴い、採算性の改善を見込む。

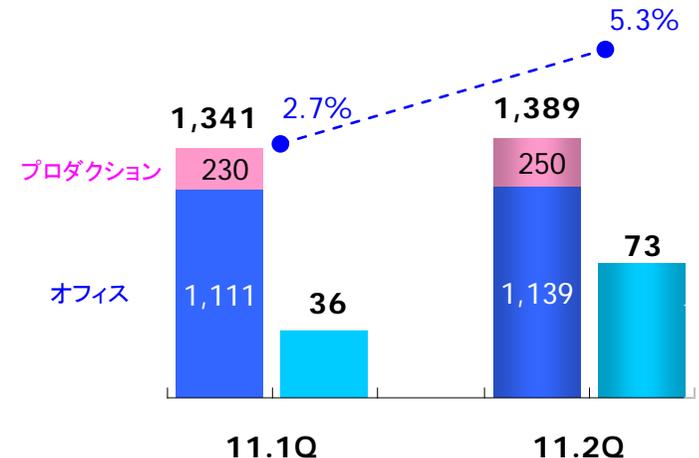
## ◆売上・営業利益(YoY)

左:売上高 右:営業利益 …営業利益率 [億円]



## ◆売上・営業利益(2Q見通し QoQ)

左:売上高 右:営業利益 …営業利益率 [億円]



# 情報機器事業 販売状況



KONICA MINOLTA

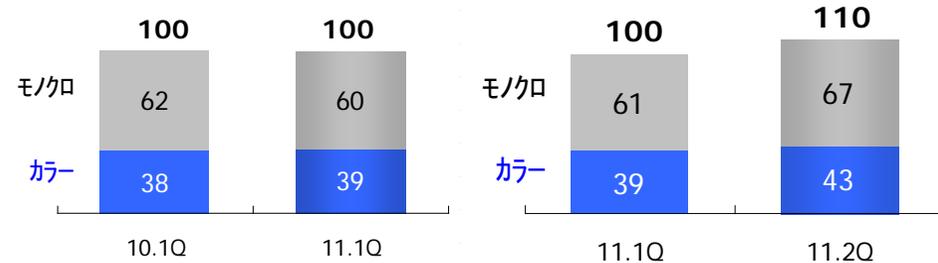
## 主要製品販売数量

10.1Qを100とした場合の指数

11.1Qを100とした場合の指数

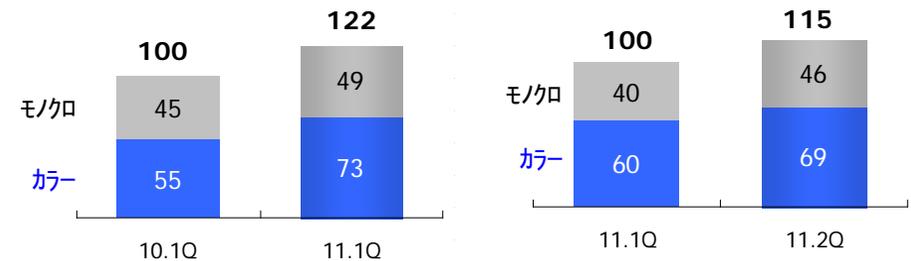
### 1Q実績 (YoY)

### 2Q見通し (QoQ)

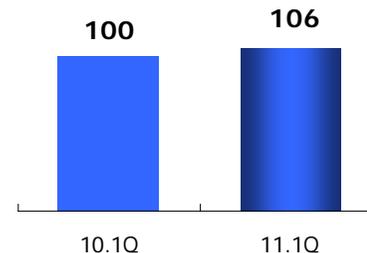


### 1Q実績 (YoY)

### 2Q見通し (QoQ)



### 1Q実績 (YoY)



※現地通貨ベースの伸長率

## オフィス

- 1Q実績 (YoY) : 前年並み (カラー: +3% モノクロ: Δ2%)
  - ▶ カラーMFPは全地域で増。
  - ▶ モノクロMFPは、北米とその他地域で減。
- 2Q見通し (QoQ) : +10% (カラー・モノクロともに+10%)
  - ▶ 米欧でのバックオーダー解消による販売拡大。

## プロダクションプリント

- 1Q実績 (YoY) : +22% (カラー: +32% モノクロ: +11%)
  - ▶ カラー新製品が牽引し前年比大幅増となる。
- 2Q見通し (QoQ) : +15% (カラー・モノクロともに+15%)
  - ▶ 米国主体のバックオーダー早期解消。

## ノンハード売上高

- 1Q実績 (YoY) : +2% (為替影響除く+6%)
  - ▶ 安定した成長が続く。

# オプト事業の概況

## 1Q実績(対前年比)

売上高 :  $\Delta 11\%$ (除く為替影響  $\Delta 8\%$ )  
 営業利益 :  $\Delta 33\%$ (除く為替影響  $\Delta 25\%$ )

- ▶ TACフィルムはVA-TAC・通常TACともに好調。
- ▶ TACフィルム以外は全般に低調に推移。  
 但し、ガラスHD基板は中盤より回復局面となる。

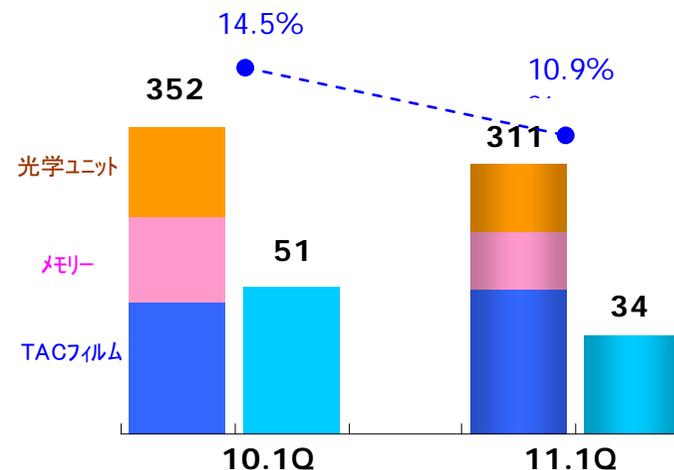
## 2Q見通し(対直前期比)

売上高 : +6%  
 営業利益 : +20%

- ▶ TACフィルムは堅調を維持。  
 メモリー分野、光学ユニットは数量増を見込む。
- ▶ 生産効率化に向けた施策を加速し、収益性を改善。

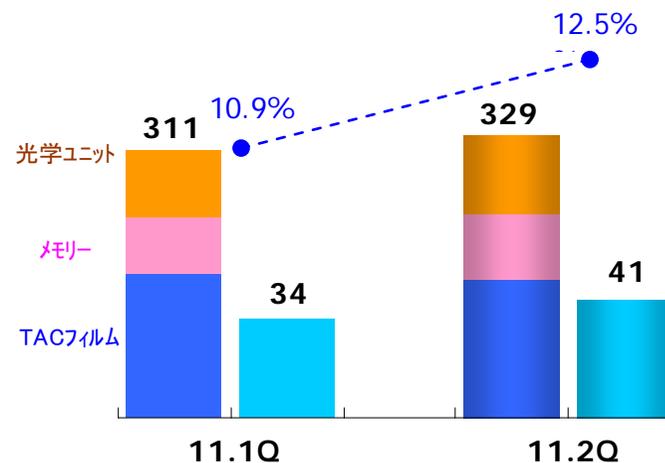
## ◆売上・営業利益(YoY)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



## ◆売上・営業利益(2Q見通し QoQ)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



# オプト事業 主要製品販売状況



## 主要製品販売数量

KONICA MINOLTA

### TACフィルム

- 1Q実績(YoY) : +17%
  - ▶ VA-TACが牽引し、四半期としては過去最高の販売数量。
- 2Q見通し(QoQ) : 1Q並み
  - ▶ 1Qの好調なモメンタムを維持。

### ガラスHD基板

- 1Q実績(YoY) : △10%
  - ▶ 5月度以降で受注が回復、販売数量の減少は限定的となった。
- 2Q見通し(QoQ) : +20%
  - ▶ 調整回復局面に伴い、販売拡大を見込む。

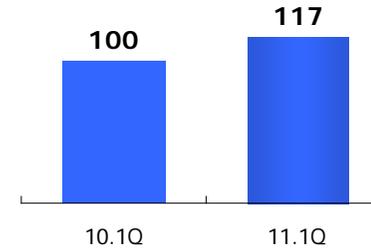
### 光ピックアップレンズ

- 1Q実績(YoY) : △16%
  - ▶ BD用は前年並みを確保、DVD用が減少。
- 2Q見通し(QoQ) : +30%
  - ▶ BD市場拡大と、DVD市場での販売拡大を見込む。

The essentials of imaging

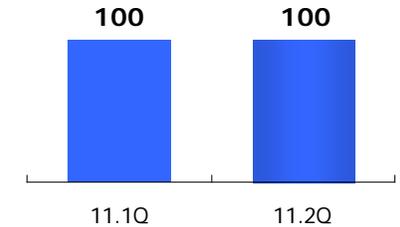
10.1Qを100とした場合の指数

1Q実績(YoY)

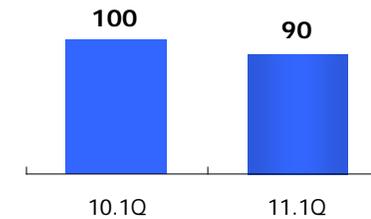


11.1Qを100とした場合の指数

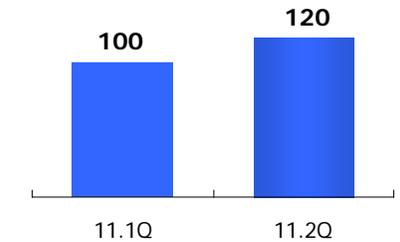
2Q見通し(QoQ)



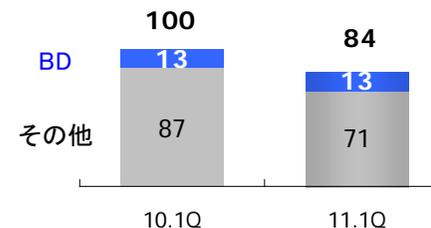
1Q実績(YoY)



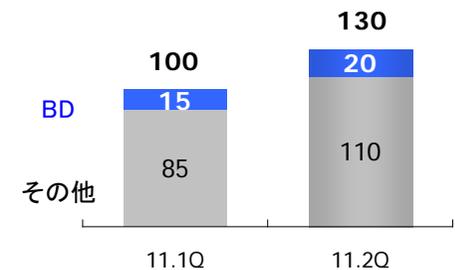
2Q見通し(QoQ)



1Q実績(YoY)



2Q見通し(QoQ)



# ヘルスケア事業の概況



KONICA MINOLTA

## 1Q実績(対前年比)

売上高 :  $\Delta 12\%$ (除く為替影響除 $\Delta 10\%$ )  
 営業利益 :  $\Delta 5$ 億円(除く為替影響 $\Delta 3$ 億円)  
 ※共にヘルスケア事業のみの前年比較

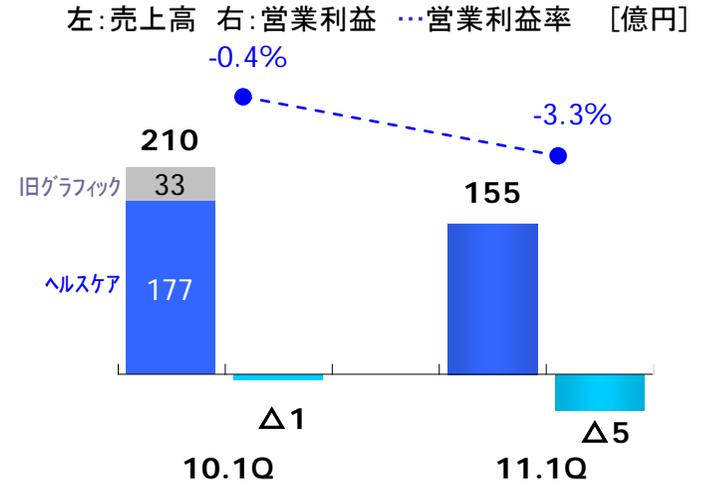
- ▶ CR・DRともに新製品の販売開始により、デジタル機器は販売増。
- ▶ フィルム製品の販売減少により減収減益。

## 2Q見通し(対直前期比)

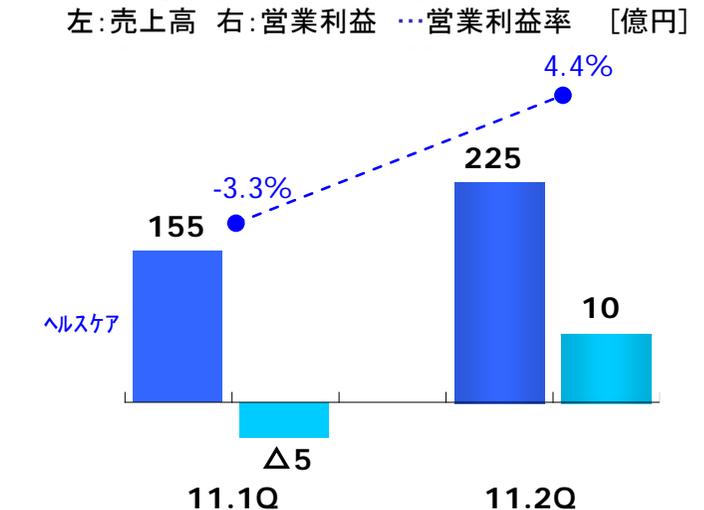
売上高 : +43%  
 営業利益 : +15億円

- ▶ 需要期となる2Qは、新製品の本格展開に伴い増収増益を見込む。

## ◆売上・営業利益(YoY)



## ◆売上・営業利益(2Q見通し QoQ)



# ヘルスケア事業 主要製品販売状況



## 主要製品販売数量

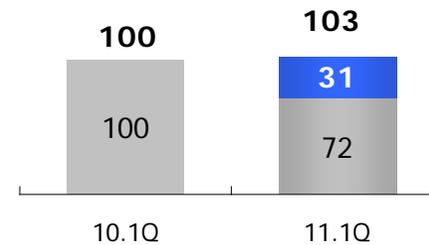
### デジタル入力機器 (CR・DR)

- 1Q実績 (YoY) : 前年並み
  - ▶ 開業医・クリニック市場向けCR新製品「REGIUS Σ」が国内、海外ともに販売貢献。
  - ▶ 軽量コンパクトなワイヤレス型DR「AeroDR」も展開開始。

- 2Q見通し (QoQ) : +80%
  - ▶ 需要期となる2Qは、新製品を投入したラインアップ効果により、「REGIUS」シリーズ及び「AeroDR」の販売拡大の本格展開を図る。

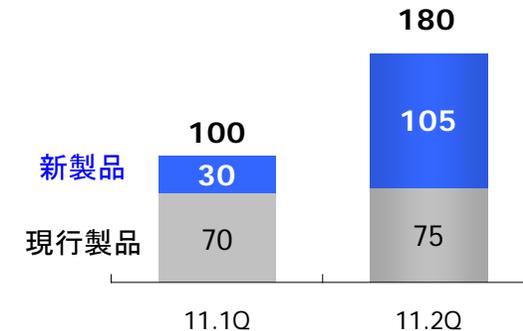
10.1Qを100とした場合の指数

1Q実績 (YoY)



11.1Qを100とした場合の指数

2Q見通し (QoQ)



# 2011年度の成長ドライバー

## 情報機器事業



**bizhub C360**  
**bizhub C280**  
**bizhub C220**

**bizhub PRESS C8000**



**bizhub PRESS C7000**

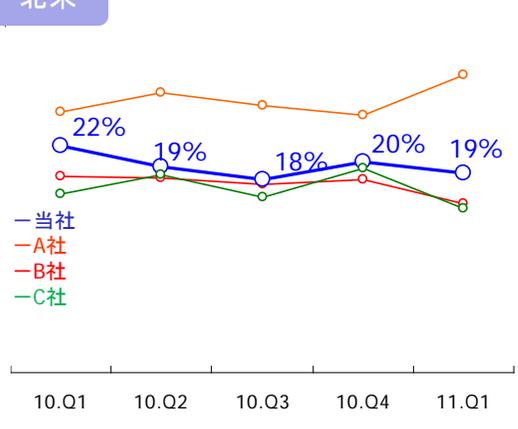
**bizhub PRESS C6000**



The essentials of imaging

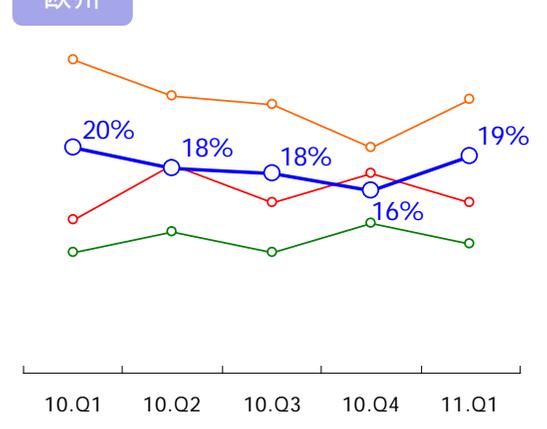
## カラーA3 MFPシェア

北米



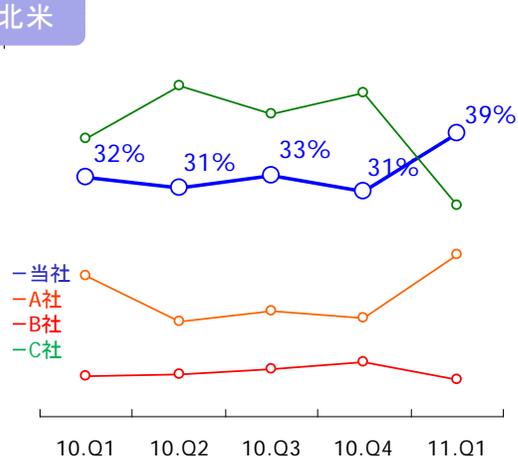
欧州

出所: 当社推計(暦年ベース)



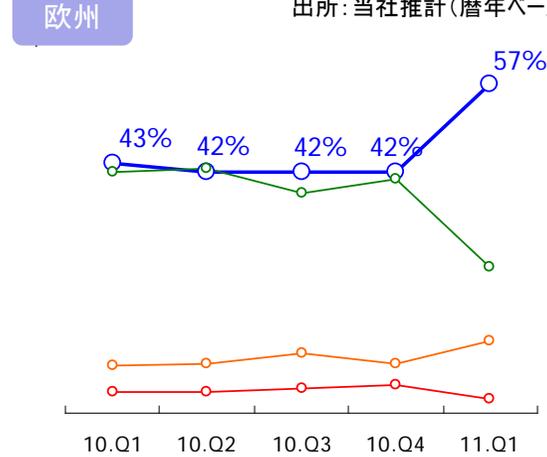
## カラープロダクションプリント機シェア

北米



欧州

出所: 当社推計(暦年ベース)



# 2011年度の成長ドライバー



KONICA MINOLTA

## オプト事業



VA-TACフィルム

## ヘルスケア事業



CR(コンピューテッド・ラジオグラフィ)  
「REGIUS Σ」

DR(デジタル・ラジオグラフィ)  
「AeroDR」



## 計測機器事業



白色LEDの管理に最適な色彩照度計  
「CL-200A」

The essentials of imaging

## 産業用インクジェット事業



インクジェットテキスタイルプリンター  
「Nassenger」

# 2011年度業績予想 全社業績



	11年度・予想		10年度・実績 通期	YoY KONICA MINOLTA 通期 【億円】	
	上半期	通期			
売上高	3,860	8,100	7,780	320	
営業利益	120	420	400	20	
(営業利益率)	3.1%	5.2%	5.1%	-	
のれん代償却額	40	80	84	△ 4	
のれん代償却前営業利益	160	500	484	16	
(のれん代償却前営業利益率)	4.1%	6.2%	6.2%	-	
経常利益	100	390	332	58	
当期純利益	30	200	259	△ 59	
(当期純利益率)	0.8%	2.5%	3.3%	-	
為替レート [円] US\$	80.00		85.71	△ 5.71	
Euro	115.00		113.11	1.89	
	※2Q以降想定レート				
設備投資	-	500	430		
減価償却費	-	650	551		
研究開発費	-	800	726		
FCF	-	80	232		

# 2011年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

売上高	11年度・予想		10年度・実績	YoY
	上半期	通期	通期	通期 【億円】
情報機器	2,730	5,660	5,396	264
オプト	640	1,350	1,298	52
ヘルスケア	380	850	850	0
その他事業	80	170	157	13
HD他	30	70	78	△ 8
<b>グループ計</b>	<b>3,860</b>	<b>8,100</b>	<b>7,780</b>	<b>320</b>

営業利益	11年度・予想		10年度・実績	YoY
	上半期	通期	通期	通期
情報機器	110	380	375	5
オプト	75	165	128	37
ヘルスケア	5	20	2	18
その他事業	10	25	22	3
HD他	△ 80	△ 170	△ 127	△ 43
<b>グループ計</b>	<b>120</b>	<b>420</b>	<b>400</b>	<b>20</b>



KONICA MINOLTA

< 参 考 资 料 >



KONICA MINOLTA

# 連結業績



KONICA MINOLTA

	11年度 1Q	10年度 1Q	[億円] YoY
売上高	1,862	1,947	△ 85
売上総利益	836	884	△ 48
(売上総利益率)	44.9%	45.4%	-
営業利益	33	98	△ 66
(営業利益率)	1.8%	5.1%	-
経常利益	26	64	△ 39
税前利益	4	22	△ 18
当期純利益	△ 1	35	△ 36
(当期純利益率)	-0.1%	1.8%	-
EPS [円]	△ 0.21	6.58	-
設備投資額	49	111	△ 62
減価償却費	117	139	△ 22
研究開発費	190	171	19
FCF	6	△ 13	19
為替レート [円] USD	81.74	92.01	△ 10.27
Euro	117.40	116.99	0.41

# セグメント別売上高/営業利益

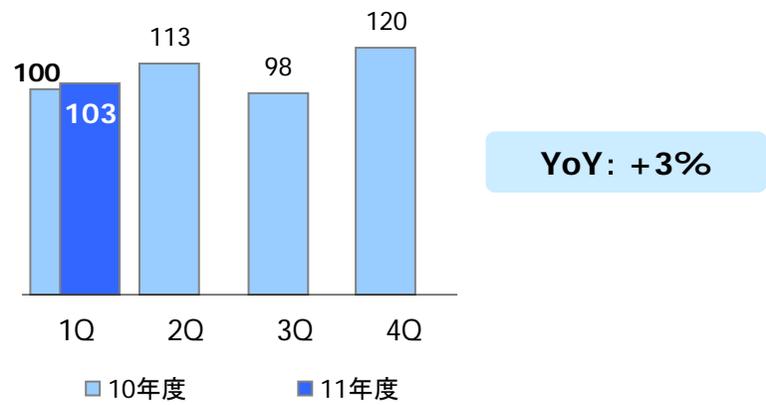
売上高	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY [億円]
情報機器	1,341	1,328	13
オプト	311	352	△ 40
ヘルスケア	155	210	△ 55
その他事業	40	39	0
HD他	15	18	△ 2
グループ計	1,862	1,947	△ 85

営業利益	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY
情報機器	36	76	△ 40
(営業利益率)	2.7%	5.8%	-
オプト	34	51	△ 17
(営業利益率)	10.9%	14.5%	-
ヘルスケア	△ 5	△ 1	△ 4
(営業利益率)	-3.3%	-0.4%	-
その他事業	5	5	△ 0
HD他	△ 37	△ 33	△ 4
グループ計	33	98	△ 66
(営業利益率)	1.8%	5.1%	-

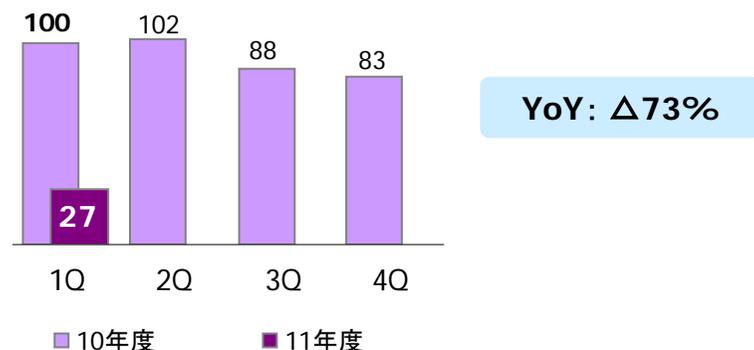
# 情報機器事業 主要製品販売状況



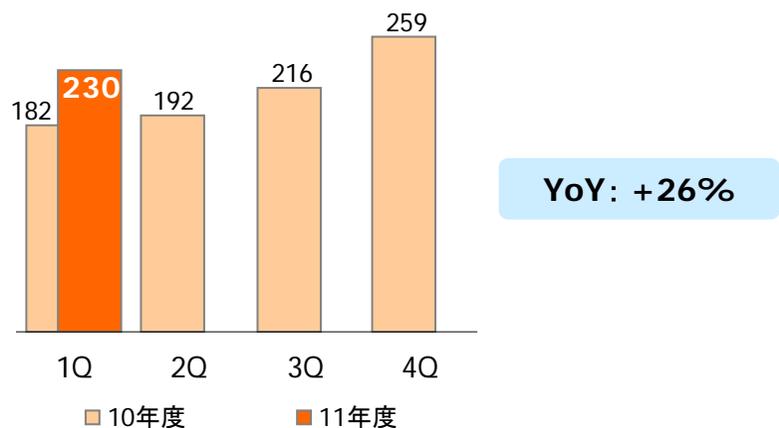
■ A3カラーMFP 販売台数\*



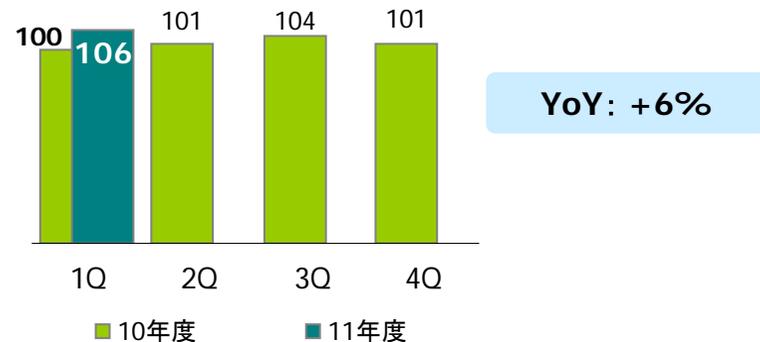
■ A4カラーMFP 販売台数\*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



■ MFPノンハード売上\* (為替影響排除後)

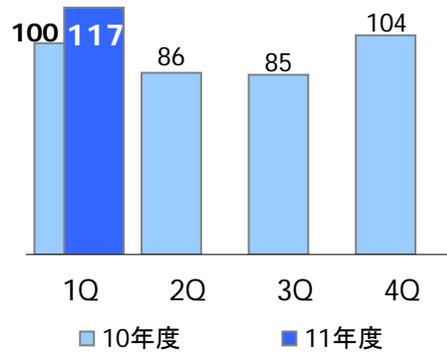


# オプト事業 主要製品販売状況



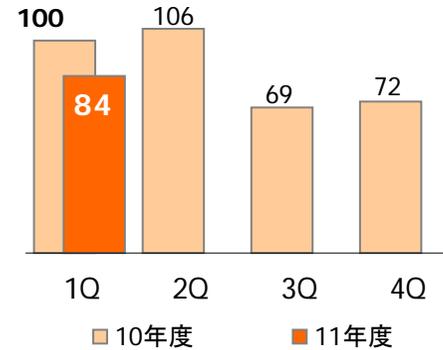
KONICA MINOLTA

## ■ TACフィルム販売数量



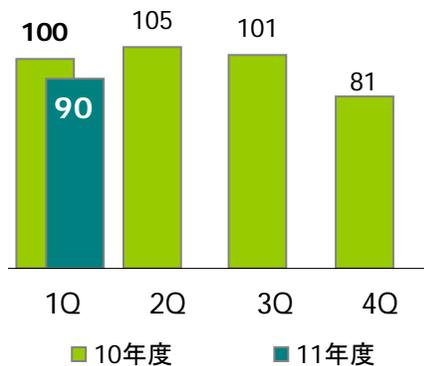
YoY: +17%

## ■ ピックアップレンズ販売数量



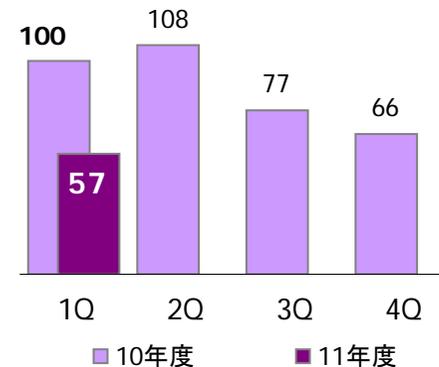
YoY: Δ16%

## ■ ガラスHD 基板販売数量



YoY: Δ10%

## ■ 携帯電話用コンポーネント



YoY: Δ43%

# 営業利益増減分析

前年同期比 (11年度 1Q vs.10年度1Q)	情報機器	オプト	その他	合計 [億円]
<b>[要因]</b>				
為替影響	△ 0	△ 4	△ 4	△ 8
価格変動	△ 22	△ 22	△ 3	△ 47
数量増減他	32	△ 4	△ 6	21
コストダウン	△ 11	5	△ 4	△ 8
経費増減	△ 39	7	9	△ 23
<b>[営業利益]</b>				
増減額 (YoY)	△ 40	△ 17	△ 9	△ 66

# 販売管理費・営業外損益・特別損益



KONICA MINOLTA

	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY [億円]
<b>販売管理費</b>			
販売変動費	105	105	△ 0
研究開発費	190	171	19
人件費	303	294	9
その他	205	216	△ 11
<b>販売管理費 計</b>	<b>803</b>	<b>786</b>	<b>17</b>
	* 為替影響額: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">△17億円(実質増減 +34億円)</span>		
<b>営業外収支</b>			
金融収支	△ 1	△ 3	2
為替差損益	△ 7	△ 26	19
その他	1	△ 5	6
<b>営業外収支 計</b>	<b>△ 7</b>	<b>△ 34</b>	<b>27</b>
<b>特別損益</b>			
固定資産売却損益	△ 2	△ 2	0
投資有価証券および 関係会社株式評価・売却損益	△ 18	△ 10	△ 8
事業構造改善費用	-	△ 24	24
その他	△ 2	△ 6	4
<b>特別損益 計</b>	<b>△ 22</b>	<b>△ 42</b>	<b>21</b>

# 貸借対照表



[億円]

KONICA MINOLTA

資産の部	11年6月	11年3月	増減
手元資金	1,747	1,751	△ 5
売上債権	1,534	1,634	△ 100
棚卸資産	1,007	1,002	4
その他	663	631	32
<b>流動資産 計</b>	<b>4,950</b>	<b>5,019</b>	<b>△ 69</b>
有形固定資産	1,837	1,907	△ 70
無形固定資産	894	884	10
投資その他	650	645	5
<b>固定資産 計</b>	<b>3,381</b>	<b>3,436</b>	<b>△ 55</b>
<b>資産 合計</b>	<b>8,331</b>	<b>8,455</b>	<b>△ 123</b>

## 負債および純資産の部

仕入債務	719	746	△ 28
有利子負債	1,949	1,926	23
その他負債	1,433	1,493	△ 60
<b>負債 合計</b>	<b>4,100</b>	<b>4,165</b>	<b>△ 64</b>
自己資本（株主資本+その他包括利益累計額計）	4,217	4,276	△ 59
その他	14	13	1
<b>純資産 合計</b>	<b>4,231</b>	<b>4,290</b>	<b>△ 59</b>
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>8,331</b>	<b>8,455</b>	<b>△ 123</b>

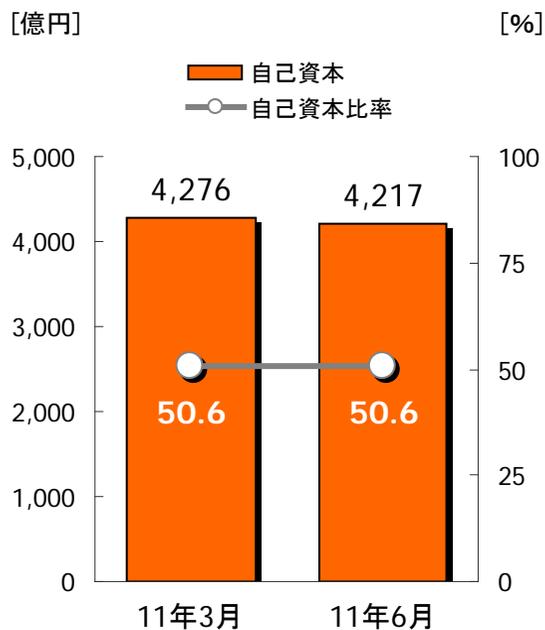
[円]

	11年6月	11年3月	増減
US\$	80.73	83.15	△ 2.42
Euro	116.84	117.57	△ 0.73

# 連結貸借対照表 主要指標

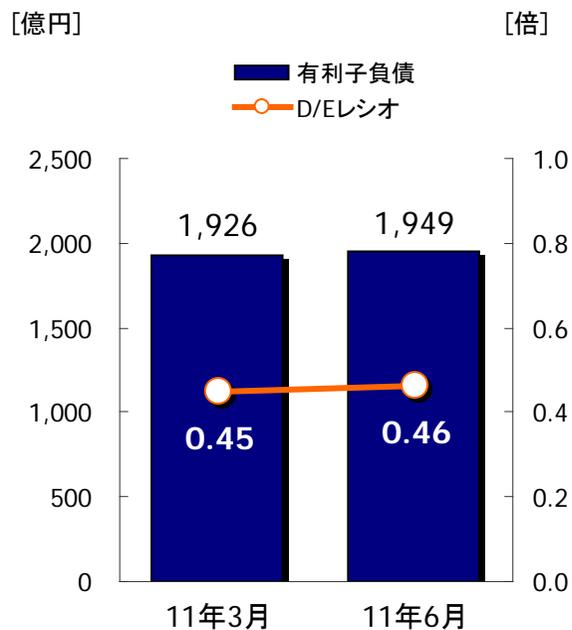


## ● 自己資本比率



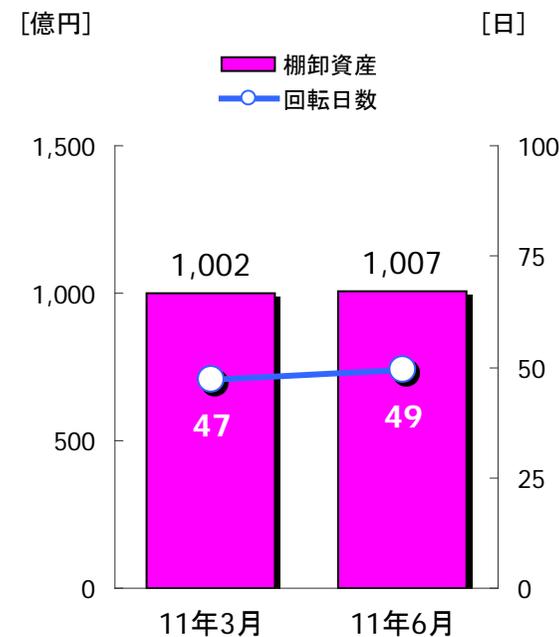
自己資本比率：  
 自己資本 ÷ 期末総資産  
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

## ● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ：  
 期末有利子負債 ÷ 自己資本  
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

## ● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



棚卸資産回転日数：  
 期末棚卸資産 ÷ (売上/日)

# キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

	11年度 1Q	10年度 1Q	YoY [億円]
税金等調整前四半期純利益	4	22	△ 18
減価償却費	117	139	△ 22
法人税等の支払額	△ 34	△ 14	△ 19
運転資本増減他	33	△ 72	105
<b>I. 営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>120</b>	<b>75</b>	<b>45</b>
<b>II. 投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△ 114</b>	<b>△ 87</b>	<b>△ 26</b>
<b>I.+ II. FCF</b>	<b>6</b>	<b>△ 13</b>	<b>19</b>
有利子負債の増減	28	14	14
配当金の支払額	△ 38	△ 39	0
その他	△ 4	△ 3	△ 0
<b>III. 財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△ 14</b>	<b>△ 28</b>	<b>14</b>



- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。